

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 3

1970.7.23

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 5337

◇ 出張利用者の計算処理について

出張利用のジョブの取扱いについては、センターニュース№2(6月20日発行)で優先処理しない旨お知らせしましたが、ジョブ処理の実情から考慮し、今回業務委員会で審議の結果優先処理の取扱いを行なうよう決定しました。

取扱い方法は下記の通りです。

記

A ジョブは、デバッグラン制限なし。

B ジョブ、C ジョブは、1ランク上げて処理を行なう。

ただしC ジョブについては優先処理ができない場合もある。

B ジョブのデバッグ回数は3件までとする。

以上の取扱いで受付は5階第2受付で行なっていますので出張利用者は第2受付に申し出て下さい。

◇ 機器構成変更について

九州大学大型計算機センターのシステム構成については、ソフトウェアの状況、運営方式から考えて、種々問題があり、これらについて昨年10月よりセンター業務委員会等で検討されてきました。

現システムの主な欠点は、主記憶装置、ファイル装置の不足のためバッチジョブの効率が悪いことおよびタイムシェアリングシステムとしての運用が不可能なことです。

これを解決するため業務委員会では、比較的余裕のあるチャネル制御関係の装置を返却し、主記憶装置とファイル装置を増強する計画を立て、運営委員会でこの案のとおりシステム変更することが決定されました。

詳しい内容は広報にてお知らせする予定ですが、次表のように2次に分けて工事が行なわれます。

	第 1 次	第 2 次
時 期	8 月 末	3 月 末
減 少	チャネル装置関係 1,200 ボー端局	磁 気 デ イ ス ク
増 加	磁気コア 32K 磁気ドラム 1台	集団ディスクバック6台 磁 気 ド ラ ム 2 台

これに伴つて次のように計算機の運転を停止しますのでお知らせします。

(計算機運転停止期間 8月22日～8月31日)

ご迷惑をおかけしますが、この間他センターを利用するなどあらかじめスケジュールを立てて利用されるようお願いいたします。

なお受付中止、再開についての詳しいスケジュールについては、後日センターニュース、掲示等によりお知らせします。

◇ オープンパンチ室の夜間使用について

オープンパンチ室およびデバック室の利用を8月1日より午後8時まで延長しましたのでご利用下さい。

利用はすべて予約制になっておりますので使用当日午後5時まで穿孔受付係に申込み下さい。

◇ 講習会について

利用者講習会 (FORTRAN 中級) を7月13、14日の2日間開催しましたが当初受講者を40名程度で募集しましたところ学外、学内を合せて100名以上の希望者があり人員の都合で学外優先で50名の範囲で実施しました。これについて学内希望者、および西利協事務局からの要望もあつて9月3日、4日同じ (FORTRAN 中級) 講習会を開催するよう計画いたしましたのでお知らせします。

◇ システム変更のお知らせ

8月1日 (土曜日) より処理プログラム FORTRAN, ALGOL のレベルアップされたものが使用されます。

つきまして今まで障害となつていたものが修正され、又新たに制限が加えられたもの機能の追加等ありますのでお知らせ致します。

FORTRAN

① 今回のレベルアップの結果修正されたもの

- (1) 複素数型の四則演算がプログラムによるとコンパイルエラーとなっていたのを修正
- (2) 算術 IF で IF(e) n1、n2、n3 の e が式でかつ n1 = n2 = n3 の時正常に compile されなかつたのを修正
- (3) プログラム単位内に SUBTRACE 文があり、かつ文関数が現われるプログラムで compile 時に DATA 読み出し侵害となっていたのを修正
- (4) TRACE 文が ASSIGN 文に会うと以後正常に TRACE されなかつたのを修正
- (5) TRACE(1) ** (n1、n2) で n1、n2 の追跡が出来なかつたのを修正
- (6) DIMENSION 宣言で添字が空白である時の処理を修正
- (7) Implied Do のマイナスの増分が正常でないことがあつたのを修正
- (8) STOP 文、算術 IF 文の次の文に文番号がない時警告を出す様に修正
- (9) ENTRY 文に誤りがある時の処理に間違いがあつたのを修正
- (10) PDUMP, DUMP 文に誤りがあつたのを修正
- (11) SUBCHK 文に誤りがあつたのを修正
- (12) 添字式内に巾乗がある場合、正常にコンパイルされなかつたのが修正

III 機能追加、仕様変更

- (1) OPTION 文に OMITT 機能を追加
OMITT 機能とは基本外部関数の引数の型のチェックを行なわない。
サブルーチンの仮引数と実引数の数のチェックを行なわない。
よつて実行時間が短くなります。
- (2) GAMMA, DGAMMA, ALGAMA, DLGAMA で $f(x)$ の $x \leq 0$ を許さない様、仕様変更
- (3) DTYPE で Do 1 i = i, N を許す。
- (4) Floating の overflow 後、数値として最大値をいれる様になります。

ALGOL

I 修正されたもの

- (1) 配列 A (1 I, J 1) を A (I, J) とかいた時実行時に ERROR となっていたものを compile 時に ERROR とする様になります。
- (2) プログラム中に記号列定数を全く使用しない時、実行時にエラーとなつていた。
- (3) cpu の使用時間切の時
AL130Z YOTEi ZiKAN KEiKA
▼ END OF PROGRAM ▼ TO SUBU となり、今までは 15 行以内の出力が出ませんでした但最终の出力まで出力致します。